

この度は近視矯正手術の資料をご請求いただきありがとうございます。

「メスを使わないイントラレーシック」は県内で唯一

那覇眼科医院のみで受けられます

次世代エキシマレーザーのおかげで、従来のレーシックのカスタムレーザーよりも、より精度の高い見え方を提供することが出来るようになりました。

いしかわ眼科クリニック院長石川晃子先生、佐敷のふじた眼科クリニック院長藤田健二先生、那覇眼科医院スタッフも当院でレーシックを受けています。

ぜひ、スタッフにも声をおかけ下さい。受けた感じ、その後の見え方などお伝えできます。メガネやコンタクトレンズから解放される喜びを分かち合えればと思います。

レーシックをお受けになるにあたっては、手術後の見え方の特性や注意点など、よくご理解いただいて受ける必要がある事と、なかには検査を受けてみたら、目の形などによって手術をお受けにならない方もいらっしゃいます。

お手元の資料をよくお読みになり、適応検査のご予約をお取りいただきますようお願いいたします。

★コンタクトレンズ装用者の方へ★

適応検査を受ける場合、角膜本来の形を知るためにコンタクトレンズはお休みしてお越しく下さい
お休み期間は適応検査前から手術当日までの間です。

～コンタクトお休み開始は～

ソフトコンタクト（近視用、遠視用）	適応検査予約日の	3日前から
ソフトコンタクト（乱視用）	適応検査予約日の	1週間前から
ハードコンタクト・遠近両用コンタクト	適応検査予約日の	2週間前から

適応検査代金 5,000 円 （手術後、手術代金から相殺）

まずはお気軽にお電話ください！ 那覇眼科医院 098-853-8000

～屈折矯正手術 概要～

必ず知っていてほしい事をなるべく分かりやすいようにつづっています。

熟読された上でご判断されてください。

見え方について

ベストな見え方って？

「メガネやコンタクトなしで見える！」です。これを正視と呼んでいます。これは、遠くを見たときに、網膜上にピントが合った状態。そして調整力（ピント合わせの力）がしっかりある人は、近くもよく見えます。逆に調整力がしっかりしていないと近くも遠くもよく見える状態は保てません。つまり正視の方は年齢とともに近くも遠くも見えづらくなります。特に正視の方は元々よく見えているので、ちょっとでも見づらいととても不便に感じます。（正視の方でも一生メガネなしで過ごすということは基本的には無理という意味でもあります）

みずらい？（1）近視

「メガネ・コンタクトがないとよくみえないなあ」

ほとんどの方が近視です。メガネなしだと遠くが見えづらいのが近視の特徴。目玉の奥行きが大きかったり、光の収束が強かったりすることで起こります。ピント合わせの力（調整力）が落ちてくると、意外と新聞などがよく見えるので気づくのも特徴です。

みずらい？（2）遠視

「目がいい」と思っている半分の方は遠視です。若い間はピント合わせの力（調整力）で遠くも近くも問題なく見える方も多いです。目の奥行きがあまりない、もしくは光の収束が弱いです。いろいろな屈折異常のなかで一番若い頃から近くが見えづらく感じるグループでもあります。近くが見えづらくなったら近用眼鏡を使いはじめますが、そのうち遠くも見えづらくなってきます。

みずらい？（3）乱視

「見えるけどすっきりしない。月が2個に見える、いや3個」黒目は角膜という透明なおわん型の膜でできているのですが、そのおわんを指でちょっとつぶしたイメージ。その歪みを乱視と呼びます。乱視も年齢とともに変化します。

みずらい？（4）眼の病気

「メガネ・コンタクトをつけてもよくみえないなあ」この方は、矯正視力ができません。カメラでいうとフィルム（網膜）になんらかの病気が隠れていたり、他の眼や頭の病気が隠れていたりする可能性があります。精密検査や治療が必要になります。

レーシックって何？

近視・遠視・乱視の角膜（黒目=透明なおわん型の膜）の光の収束具合を変えるために、厚さ約0.5mmの5層からなる角膜の表層に、適正な屈折を目標にレーザーをかけます。矯正は半永久的です。角膜にレーザーをあてて形を整えようとするわけです。そのレーザーをエキシマレーザーとよんでいます。近視や乱視の強さにもよりますが、レーザーの時間はだいたい5～15秒くらいで痛みはありません。角膜の表にフタ（フラップ）を作って、めくったところにエキシマレーザーをあて、フラップをもどす方法をレーシックとよんでいます。

イントラレーシックってどういうの？（那覇眼科医院のレーシック）

フェムトセカンドというレーザーで角膜にフタ（フラップ）を作り、エキシマレーザーで角膜の形を整える方法をイントラレーシックと呼びます。

イントラレーシック＝フェムトセカンドレーザー＋エキシマレーザー

2種類の操作ともレーザーになりますので、感染や精度（見え方のばらつき）ハロー・グレアなどの夜間視力の心配や、フタがずれたりとれたりする心配が減ります。また、普通のレーシックに比べ、ドライアイや網膜剥離、角膜拡張症などの合併症が少ないのが特徴です。

じゃあ普通のレーシックは？

角膜のフタ（フラップ）を作るのをメスで行う従来のレーシックです。

普通のレーシック＝マイクロケラトーム(電動メス)＋エキシマレーザー

角膜のフタ（フラップ）が厚めになってくるので、イントラレーシックより受けられる人が限られてきます。特に近視が強い方、角膜が薄い方は普通のレーシックを受けられない場合があります。またケラトームをかける時に一時的に眼圧をあげますので網膜剥離などに注意する必要があります。

ラゼック（LASEK）って何？

角膜が薄くレーシックが出来ない人や、格闘技をする方などがエキシマレーザーを受けられる方法です。レーシックよりは視力の回復が遅く、少なくとも1週間前後かかるのと、角膜の皮が再生するまでの間、異物感がありますので保護目的でコンタクトレンズをします。あとで角膜が濁って（ハイズ）視力が落ちるのを避けるために半年間はサングラスをかけていただきます。フラップはないのでずれてりしません。

適応検査について

レーシックが受けられる目なのかをみるための検査です。

診察ではカウンセリング、総合的な診察の後、レーシックの適応診断、患者さんの目とライフスタイルに合う最適な術式をご案内させていただきます。

全ての検査にて手術適応とされた場合、手術の日程調整となります。適応検査から4週以内に手術を受けていただきます。4週を超える場合、再度検査が必要となる場合がございます。

<所要時間> **3時間程度**

<検査内容> 視力検査・眼圧検査、角膜内皮検査、角膜厚検査、視野検査、
眼軸長検査、眼底検査

瞳を開く目薬を使います。

4～5時間まぶしくぼんやりしますので帰路はご自身での運転は控えていただいています。

(お付き添いの運転、公共交通機関、タクシーなどご利用ください)

屈折矯正手術費用

<イントラレーシック (intra LASIK) >

・両眼 ￥333,500(税別) ￥368,500 (税込)

・片眼 ￥192,500(税別) ￥211,750 (税込)

★1) 手術費用には術後の定期検査代金も含まれています

お支払いはレーシック当日に現金もしくはクレジットカード（一括のみ）にてお受けします。

利用可能なクレジットカード会社はスタッフにご確認ください。

お振込みの方は事前にスタッフへお申し出御、レーシック当日5日前までにすませてください。

★1) ただし、強いドライアイや他の眼の病気が出る場合は

保険診療に切り替えての治療となります。（保険証・マイナンバーカード持参）

その際の費用は自己負担となりますのであらかじめご了承ください。

手術当日について

手術日は 毎週 「金曜日 午後」です。

13 時頃に来院し、15 時すぎに帰宅となります。

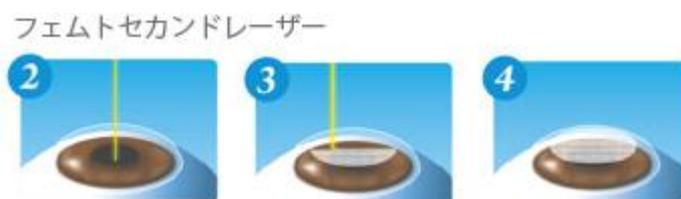
手術当日は視力が安定していませんのでご自身の運転厳禁です。お付き添いの運転、公共交通機関、タクシーなどをご利用ください。

レーシック手術の流れ

① 目薬の麻酔をします。すこししみます。



②～④角膜表面にフェムトセカンドレーザーをかけて、角膜フラップを作ります。



⑤～⑥ふたをめくって、エキシマレーザーをかけて、角膜の形を整えます。



⑦～⑧ふたを戻して終了です。



手術後の定期検査 (毎回保険証・マイナンバーをお持ちください)

術後の定期検査は **翌日、1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後** です。

<考えられる合併症>

ドライアイ	約半年、かなりの方が起こります。重症は点眼にて治療します
ハロー・グレア	夜間視力の質低下、特に強度近視では出現します。約半年で軽減します
近視戻り	強度近視は約3ヶ月で若干近視が戻ります。 近見環境（パソコン作業など）も関与します
角膜拡張症	裸眼視力が低下、コンタクトを要します。重篤な場合は角膜移植を要します
角膜感染症	重症の場合は入院手術を要する場合があります
網膜剥離	小さな剥離はレーザーで対処しますが、重篤な場合入院手術を要します

～考えられる合併症 補足～

レーシックも手術ですのでリスクがあります。

リスクの中で一般的に言われる合併症は、多いものからドライアイ(1.2%)、フラップのしわ(1.1%)、びまん性層間角膜炎(0.6%)、術後3ヶ月での追加照射(0.7%)、角膜感染症(0%)（2016年日本白内障屈折矯正学会報告）となります。レーシック後ドライアイは術後2-3ヶ月で軽快しますが、日常生活に支障をきたす場合治療いたします。フラップのしわ、びまん性角膜炎はごくまれにあります。いずれも治療可能なものです。

術後3ヶ月での追加照射は当施設でもあります。特に当施設では過矯正（せっかくだから視力1.5～2.0になりたい）からくる頭痛、吐き気、まぶしさなどを回避するため必要最小限のレーザー照射を厳しく狙っています。ただし測定誤差や照射誤差はゼロにはなりませんので弱く誤差が出て、ごく稀に低矯正（弱いメガネをかけている状態）になる場合があります。その場合は3ヶ月後追加照射を受けていただいています。

～合併症以外のリスクとして～

レーシックは、今その時にある近視や乱視の量を減らして、視力を改善させましょう、ということができます。ただし、目の形は生きていく限り変形変化していきますし、近方作業が多い方は近視化しやすいとも言われています。ですからレーシックをうけたら生涯再び近視にならないとは、言えません。後々でてきた近視などを、どう矯正するかは相談していきましょう。不便な時間や作業がわずかな場合はメガネで、老眼もなく角膜厚がしっかりあり希望される方はレーシック、どちらでもない方はコンタクトレンズ、またはその組み合わせ、など、様々なその方のライフスタイルにあった提案をしていきます。また、ピント合わせの能力が落ちる現象（いわゆる老眼）は、現在どんな薬剤も手術も完全にこれを治療できる手段がありません。レーシックでも老眼は治りません。むしろ感じやすくなります。また一般的に近視の人は老眼を感じづらく、近視のない人ほど老眼をかんじやすいと言われています。近視のひとが「最近よくなってるみたい」と言いながら、メガネを外して本や新聞を読んでいる、これがまさに老眼です。老眼がない頃はメガネをかけたままで近くが見えていたのを、メガネを外さないと見えなくなったのです（老眼）が、外して見ると嬉しいので、良くなったと感じます。レーシックの後は、近視のない人の見え方になりますから、個体差や体調もありますが30-40歳代から少しずつスマホの字がみづらいなどの現象を感じるようになります。

私（那覇眼科医院院長 石川哲夫）が診療中にかけているメガネもいわゆる老眼鏡です。

追加矯正照射

当院ではレーシック手術後3ヶ月以降で、当院の医師により追加矯正が可能と判断された場合、**手術日から半年以内 1回限り** 無料で追加矯正手術をおこなっています。

手術日から半年を超えますと料金が発生いたします。

★以下の場合は追加矯正手術の対象となりません。

- 他のクリニックでレーシックを受けられた方
- 年齢変化および事故・怪我などによる視力低下
- 糖尿病・膠原病など全身疾患のある方
- 妊娠中の方
- 残りの角膜厚により追加照射が不可能な方
- その他当院医師の判断にて、再手術困難な場合

レーシック後の眼科受診について

レーシック後、今までどおり眼科に受診できますが、

レーシックをお受けになられたことを申し出てください。

眼圧検査 レーシック後は3~4mmg低くでます。

白内障手術 知らせずを受けると、術後屈折予測精度が落ちる場合があります。

網膜剥離 レーザーや手術を受けることになった場合、必ず申し出てください。

医療保険などの適応

個人での生命保険などの医療保険に加入されている方は、保険の種類や加入時期によってはレーシックが手術保険給付対象となっている場合もあります。

保険会社に必ずお聞きになられてください。

保険分野での手術名は「レーザー角膜矯正手術」となります。

保険会社申請用診断書作成料 ￥11,000（税込）

2007年4月1日以前に加入された方は給付対象になっていることが多いようです。

また、給付金額は保険会社毎、保険内容によって変わってきます。

★詳しくは現在加入されている保険会社・代理店にお問い合わせください。